

文化創造のグローバリズム

レヴィストロス神話学1,2,3巻のまとめ

Syntagme Analytique

	連続と分断 何とか文化が創成 (ボロロ族などマトグロッソ)	同盟の模索 拡大努力 (モンマネキ、アマゾニア)	周期、再生産、人の智 (月の嫁、北米プレーリー)
世の始まり 連続性(自然) 遺恨に苦しむ社会		洪水の生き残り、モンマネキと老母 (火と狩り)	天の村は昔にのち、ある男が移住して造ったのじゃ(アラパホ古老)
母系居住、近親姦の猖獗 食事作法の未確立(生肉喰らい、喰いたい放題、喰う順番無し)		火と狩り(肉)、一家族(文化の最小単位)での生活	太陽と月は息子 天空を不規則出没、周回も不徹底(夜続きの寒冷、長い昼の酷暑)
父との確執(通過儀礼) 反逆(金剛インコの雛を渡さない)		異種婚同盟の試み カエル、地虫、鳥	規則性を画策(嫁迎への談義、地の女評定)
ヒーローの追放、孤立、死		文化規範に合致しない (美観=鳥の脚、食事作法=ムカデ喰い、対話なし) 魚の創造	月は人の女で嫁とり成功、太陽はカエル選んで失敗(文化の相克)
再生、ジャガー(文化担い手)に救助される、文化(火、狩り)の取得		規範にあわない漁獲法で近すぎる婚姻(人の女)の破局	規格外のカエル(美観、食事作法=噛み音を立てない、対話=壁に向かい話しに乗らないピョン飛びおっこ)
地に戻る、父と母を殺戮(文化の相克、それを乗り越えて創造)		上半身女に取り憑かれる(文化の相克)	義父(天の家父長)の戒め 月に規則性(日夜の交替、女への支配月経、妊娠、出産)
洪水、生き残りヒーローと祖母が文化(火と狩り)を継承		モンマネキ出奔(同盟の模索)	再生産確保の反作用(太陽に残虐性の発生)

Paradigme
Dialectique

伝播流
れの方
向

作成・部族民通信
2019年9月30日
蕃神